

在リオデジャネイロ日本国総領事館
セントロ地区における邦人被害の強盗、ひったくりの続発

1. 12月25日(日)午後1時頃、男性旅行者2名がセントロ地区のリオ・ブランコ大通りを歩いていたところ、ナイフを所持した男3人組が現れ、現金やカメラ、携帯電話等在中のリュックサックを両名から強奪しました。
 2. 1月1日(日)午後2時頃、女性旅行者2名がセントロ地区のアルミランテ・バホーズ大通りを歩いていたところ、1名が路上生活者風の男にカメラをひったくられました。
- さらにその直後、もう1名の女性が、別の路上生活者風の男に財布やカメラ、携帯電話在中のバッグをひったくられました。

総領事館から

週末や夜間のセントロ地区は人気がなく治安が悪いため、むやみに近寄らないよう常々注意喚起しているところですが、年末年始の観光シーズンにコパカバーナやその周辺で宿泊できなかった観光客がセントロ地区に滞在して被害に遭った模様です。いずれも白昼で、複数で行動していましたが被害に遭っています。

セントロ地区に限らず、南部の一部地区を除くリオ市の大半のエリアは治安に問題がありますので、不慣れな土地には不用意に立ち入らないよう注意して下さい。